

1～160列（心血管）部門 最優秀賞

下肢閉塞性動脈硬化症

社会医療法人社団 カレスサッポロ北光記念病院
中村 仁志 様

使用装置・列数

Aquilion PRIME 80列

検査目的

下肢動脈のEVT術前精査および上肢動脈アプローチを考慮したアクセスルートの評価。

クリニカルコメント

一度の撮影で左総腸骨動脈・両側浅大腿動脈の閉塞病変を含む末梢までの下肢動脈、アクセスルートである上肢動脈の描出ができ、右橈骨動脈・両側鎖骨下動脈の狭窄を指摘。治療方針の決定に役立てることができた。

テクニカルコメント

末梢血管への造影剤到達時間には個人差が大きいですが、ダブルレベルテストインJECTION法により適切な撮影タイミングの取得が可能となった。また、撮影開始までの時間を長く設定することによって造影剤注入側の高濃度造影剤をある程度洗い出すことができ、同側の上肢動脈の評価が可能であった。管電圧を下げることによって造影剤の減量も試みた。ストレッチボールを握ることによって指先の固定も容易にでき遠位橈骨動脈穿刺の際のポジショニングに近い体位がとれる。

審査員コメント

ダブルテストインJECTION法という新しい方法により、広範囲でありながら、造影効果の高い良好な画像が得られていることを高く評価した。

使用列数	管電圧	撮影スライス厚	管電流	ヘリカルピッチ	Real Prep	本スキャンDelay time
64	100kV	0.5 mm	V-EC SD8 (0.5 mm厚)	53	未使用	33sec
スキャン速度		撮影範囲	Total撮影時間		CTDI	DLP
0.5 sec/rot		1425 mm	24sec		10 mGy	1458 mGy・cm
再構成方法	画像スライス厚	再構成間隔	再構成関数	画質オプション	ワークステーション名	造影剤名
TCOT+	0.5 mm	0.5 mm	FC04	AIDR 3D (Standard)	Ziostation2	イオパミドール370
造影剤注入方法				造影プロトコル		
FD20mgI/kg/secに設定。本注入は注入時間25sec固定。 テスト注入は本注入と同じ速度で3sec注入。生食後押し有り。				テスト注入 2.9mL/sec (9mL) + 生食2.9mL/sec (8mL) 本注入 2.9mL/sec (72mL) + 生食2.9mL/sec (40mL)		



VR画像

画像コメント

上肢動脈を含めた全身の動脈CT値を高く維持でき、良好なVR画像を得ることができた。下肢の閉塞性疾患に加え、アクセスルートである橈骨動脈や鎖骨下動脈、腹部大動脈の狭窄も指摘された。